

東北大学 × JST-RISTEX

シチズンサポートプロジェクトによる

孤独・孤立の 一次予防

“多世代でつくる持続可能な地域社会へ向けて”

第16回 CS講演会



2025年7月29日(火)
17:00 ▶ 18:00

会場 完全オンライン
(Zoomを予定)
定員 100名

お申し込みはこちら



※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」研究開発プロジェクトにて実施するものです。（グラント番号：JPMJRS22K3）

抄録

これから急速な人口減少と更なる高齢化が進む我が国は、社会を支える力が弱くなっていく中で、様々な領域での社会課題に対応していかなければならない。それは多世代の住民と地域の企業・団体、行政の参加によって乗り越えていくことができる可能性がある。そのヒントとなるリビングラボと情報通信技術（ICT）の活用に向けた実践について紹介する。



一橋大学大学院
ソーシャル・データサイエンス研究科
榎山 敦 教授

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。人間拡張技術、複合現実感技術等を駆使して超高齢社会を拡張する研究に取り組む。2022年4月より東京大学先端科学技術研究センター特任教授を兼務。Laval Virtual Trophy, IFIP Accessibility Awardなど受賞。著書に『超高齢社会2.0 クラウド時代の働き方革命』（平凡社新書）、『ジェロンテクノロジー 高齢社会を支える情報通信技術の展開』（東京大学出版会）など。

主催：東北大学「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」研究班
共催：日本コミュニティ・シェッド協会

RISTEX
Research Institute of Science and Technology for Society

SOLVE for SDGs:
Preventing Social Isolation &
Loneliness and Creating
Diversified Social Networks